総務部　目標

【概要】

総務部は、総務課・防災安全課・秘書広報課・財政課・管財契約検査課の５課で構成し、議会、庁内各部課の調整、統計、条例及び規則、職員に関する施策、防災・減災、防犯施策、秘書、褒章、表彰、広報及び広聴、予算、経営改革、市役所本庁舎の維持管理、契約、検査事務等に関する施策に取り組んでいます。

総務部の目標（令和６年度）	総務部長 総務部参与
【基本方向】 富津市みらい構想で市が目指す将来像として掲げた「誇りと愛着を持てるまち ふっつ」の実現に向け、市を取り巻く情勢の変化や多様化する市民ニーズを的確に捉え、業務の総合的な調整を行い、持続可能な行政経営を推進します。また、地域防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進します。	
【達成すべき目標】 **１　富津市総合防災訓練及び各部局職員による災害時対応実動訓練の実施** 富津市総合防災訓練として、市民を対象としたシェイクアウト訓練、各区長や自主防災組織を対象とした避難所開設訓練及び災害時の各種協力団体が参加する防災フェスタを実施します。 また、大規模災害時に職員が円滑な災害対応ができるよう、部局ごとの職員を対象とした災害時対応実動訓練を継続して実施します。	**【目標の達成度】** **１　富津市総合防災訓練及び各部局職員による災害時対応実動訓練の実施** 令和６年５月19日（日）、富津市総合防災訓練を実施しました。シェイクアウト訓練では、防災行政無線等を合図に実際に身を守る行動を行うことで市民の防災意識を啓発しました。避難所開設訓練では、避難所に直行する避難所開設担当職員と各地区のリーダーとなる住民との間で、有事を想定した実技訓練等を行い、課題を相互に共有することにより地域防災力の向上を図りました。防災フェスタでは、会場となったイオンモール富津に約７千人が来場し、33団体の協力のもと体験型訓練や防災関連物品等の展示により市民の防災意識の高揚を図りました。 また、大規模災害時に職員が円滑な災害対応ができるよう、市民部、健康福祉部及び建設経済部の職員を対象に災害対応実動訓練を実施しました。
２　「チャレンジドオフィスふっつ」の円滑な運営 障害者実雇用率の改善のため、引き続	**２　「チャレンジドオフィスふっつ」の円滑な運営** 職員採用試験において障がい者枠を設

き職員採用試験に障がい者枠を設けるとともに、障がい者の一般就労支援を目的とした「チャレンジドオフィスふっつ」の円滑な運営に取り組みます。	けるとともに、令和６年６月に「チャレンジドオフィスふっつ」を立ち上げ、障がいのある方を２名任用しました。 行える業務の把握やスケジュール管理により、円滑な運営に取り組みました。
３　ふっつの魅力発信事業の推進 行事や催し物、地域の魅力や市政情報等を各課と連携・協力しながら、各種の広報媒体やＳＮＳ等を活用し、迅速かつ確実に発信していきます。	**３　ふっつの魅力発信事業の推進** 令和６年度から広報紙の発行ページ数の回数を変更（16Ｐの通常号を８回から４回へ、20Ｐの特集号を４回から８回へ）し、総ページ数を増やすことで、より見やすい広報紙とより多くの市政情報を届けられるようにしました。 また、ＳＮＳでは特に、YouTubeを月１回以上発信したことで、Ｒ７．３月末現在チャンネル登録者数1,000名で、前年増加実績との比較では32％増加しました。
４　特定施設の整備に係る基金設置に向けた調整 本市の将来にとって重要な大規模普通建設事業の着実な実施に向けた財源を確保するための手段として、特定目的基金の設置に向け、中期収支見込みにおける基金積立金の計上、また、基金設置条例の提案や補正予算計上など、施設整備担当課と連携を図ります。	**４　特定施設の整備に係る基金設置に向けた調整** 決算額を基準とした標準的な財政運営を作成し、財政調整基金残高の目標水準を確認したうえで、特定施設の整備に係る基金積立の方向性を決定しました。 この決定を基に、中期収支見込みに基金積立金を計上し、９月に市議会に対し説明をするとともに、12月議会で基金設置条例の提案及び積立金の補正予算計上を行いました。
５　脱炭素化の取組み 富津市脱炭素化の取組みとして本庁舎照明のＬＥＤ化を実施します。	**５　脱炭素化の取組み** 令和６年６月に本契約、９月から交換作業開始、12月から賃貸借を開始しました。

総務課　目標

【概要】

総務課は、行政係・職員係の２係11名で構成し、議会、庁内各部課の調整、議案の取りまとめ、例規審査、各種統計調査、職員に関する各種施策等に取り組んでいます。

総務課の目標（令和６年度）	総務課長
【基本方向】 議会、庁内各課との連絡調整、例規審査等を通じて、組織全体を取りまとめ、また、職員の定員管理や各種研修による人材育成、人事評価、福利厚生、健康管理等により、職員が持てる能力を発揮し、適正かつ効率的で効果的な業務の執行が可能な職場環境をつくります。	
【達成すべき目標】 1　「チャレンジドオフィスふっつ」の円滑な運営 障害者実雇用率の改善のため、引き続き職員採用試験に障がい者枠を設けるとともに、障がい者の一般就労支援を目的とした「チャレンジドオフィスふっつ」の円滑な運営に取り組みます。 2　文書庫の保管スペースの確保 文書庫の文書量が保存容量を超えていることから、不要文書の廃棄や保存年限の見直し等を行い、保管スペースの確保を行います。 3　個人情報の保護に関する管理体制の強化 個人情報の保護に関する管理体制の強化のため、個人情報の取扱いや安全管理措置等についての研修の充実や、内部監査を行います。	**【目標の達成度】** 1　「チャレンジドオフィスふっつ」の円滑な運営 職員採用試験において障がい者枠を設けるとともに、令和６年６月に「チャレンジドオフィスふっつ」を立ち上げ、障がいのある方を２名任用しました。 行える業務の把握やスケジュール管理により、円滑な運営に取り組みました。 2　文書庫の保管スペースの確保 保存文書の点検を実施し担当課と協議の上、一部の文書を廃棄しました。 また文書管理の先進自治体へ視察に行き、文書管理システムの導入や電子データでの保存について調査・研究を行いました。 3　個人情報の保護に関する管理体制の強化 外部講師による個人情報の取扱いや安全管理措置等について、中堅職員を対象に研修を行い、職員の意識向上を図るとともに、総務部及び企画政策部に対し定期監査を実施し、管理体制を強化しました。

防災安全課　目標

【概要】

防災安全課は、防災安全係１係７名で構成し、市民の安全、安心なまちづくりを推進するために防災・減災、防犯施策に取り組んでいます。

総務部の目標（令和６年度）	防災安全課長
【基本方向】 市民の防災意識の高揚とともに地域防災力の向上を図り、災害に強いまちづくりを推進します。また、市民の防犯意識の高揚を図り、安全・安心なまちづくりを推進します。	
【達成すべき目標】 **１　富津市総合防災訓練及び各部局職員による災害時対応実動訓練の実施** 富津市総合防災訓練として、市民を対象としたシェイクアウト訓練、各区長や自主防災組織を対象とした避難所開設訓練及び災害時の各種協力団体が参加する防災フェスタを実施します。 また、大規模災害時に職員が円滑な災害対応ができるよう、部局ごとの職員を対象とした災害時対応実動訓練を継続して実施します。 **２　地域（地区）防災訓練の実施** 令和元年房総半島台風をはじめ、頻発化・激甚化する風水害、いつ起こってもおかしくない大地震に備えるため、地域の特性に応じた地域（地区）防災訓練を実施します。	**【目標の達成度】** **１　富津市総合防災訓練及び各部局職員による災害時対応実動訓練の実施** 令和６年５月19日（日）、富津市総合防災訓練を実施しました。シェイクアウト訓練では、防災行政無線等を合図に実際に身を守る行動を行うことで市民の防災意識を啓発しました。避難所開設訓練では、避難所に直行する避難所開設担当職員と各地区のリーダーとなる住民との間で、有事を想定した実技訓練等を行い、課題を相互に共有することにより地域防災力の向上を図りました。防災フェスタでは、会場となったイオンモール富津に約７千人が来場し、33団体の協力のもと体験型訓練や防災関連物品等の展示により市民の防災意識の高揚を図りました。 また、大規模災害時に職員が円滑な災害対応ができるよう、市民部、健康福祉部及び建設経済部の職員を対象に災害対応実動訓練を実施しました。 **２　地域（地区）防災訓練の実施** 出前講座を通じて避難所運営訓練（ＨＵＧ）や各地域の特性に応じた災害図上訓練（ＤＩＧ）を実施したほか、地域が主体となった防災訓練の中で防災講座を実施するなど、計15回（団体）の地域（地区）防災訓練を実施・支援しました。

3　自主防災組織の設立支援 「共助」の取り組みにより地域防災力の向上を図るため、出前講座等を通じた自主防災組織の設立を支援します。	3　自主防災組織の設立支援 自主防災組織の設立支援のため、出前講座等を実施し、新規で２団体が設立されました。（令和７年３月31日現在で91団体が設立済）
4　個別避難計画の作成支援 高齢者や障がい者など避難に支援が必要な方（避難行動要支援者）の「個別避難計画」を作成するため、災害の危険性の高い地域から戸別訪問を行い、順次計画の作成を支援します。	4　個別避難計画の作成支援 高齢者や障がい者など避難に支援が必要な方（避難行動要支援者）の戸別訪問を行い、「個別避難計画」の作成を支援しました。（令和７年３月31日現在で1,106名の計画を作成済） また、真に避難支援が必要な方を「避難行動要支援者名簿」に掲載するため、名簿掲載の意向確認調査等を実施し、掲載人数の見直しを行いました。（令和７年３月31日現在で4,300名から1,178名に減少）
5　避難確保計画の作成支援 災害の危険性のある社会福祉施設、学校、医療施設などの要配慮者利用施設が作成する避難確保計画について、訪問や助言等により作成を支援します。	5　避難確保計画の作成支援 災害の危険性のある社会福祉施設、学校、医療施設などの要配慮者利用施設が作成する避難確保計画について、訪問や助言等により作成を支援しました。（令和６年度末で計画作成義務のある22施設のうち、15施設が作成済）

秘書広報課　目標

【概要】

秘書広報課は、秘書広報係１係５名で構成し、市長、副市長の秘書、渉外、儀式、褒章及び表彰に関すること、「広報ふっつ」の発行、ホームページやＳＮＳ等での情報発信、市民の皆さんのご意見等をお聴きする「市民の声」等に関する業務などを行っています。

秘書広報課の目標（令和６年度）	秘書広報課長
【基本方向】 市長、副市長の効率的なスケジュール管理を行うと共に、行政情報、地域の魅力等をより分かりやすく、迅速かつ確実に発信し、また、市民の皆さんからのご意見等に速やかに対応するため、各担当課と綿密な連絡調整に努めます。	
【達成すべき目標】 **１　市長、副市長のスケジュール等の効率的な管理** 市長、副市長が出席する行事の詳細を把握し、会議や打合せ等も含め効率的なスケジュール管理を行います。	**【目標の達成度】** **１　市長、副市長のスケジュール等の効率的な管理** 令和６年度の市長・副市長のスケジュールは、３月末で1,483件（Ｒ５年度末1,421件）と昨年度との比較ではコロナ禍も明け増加しましたが、開催される会議や行事等について詳細を把握し、適切なスケジュール管理をすることができました。
２　ふっつの魅力発信事業の推進 行事や催し物、地域の魅力や市政情報等を各課と連携・協力しながら、各種の広報媒体やＳＮＳ等を活用し、迅速かつ確実に発信していきます。	**２　ふっつの魅力発信事業の推進** 令和６年度から広報紙の発行ページ数の回数を変更（16Ｐの通常号を８回から４回へ、20Ｐの特集号を４回から８回へ）し、総ページ数を増やすことで、より見やすい広報紙とより多くの市政情報を届けられるようにしました。 また、ＳＮＳでは特に、YouTubeを月１回以上発信したことで、Ｒ７．３月末現在チャンネル登録者数1,000名で、前年増加実績との比較では32％増加しました。
３　広聴業務の円滑な対応 市民の皆さんからのご意見等を直接お聴きする「市民の声」やメール等による問い合わせに対して、迅速な対応や回答に向け各担当課との連携を密にします。	**３　広聴業務の円滑な対応** お寄せいただいた各種のご意見等を漏れなく各担当部署に伝え、連携を図ることで迅速な回答に努める等、適切に処理することができました。また、要望の内容及び回答を今後の業務の参考にするため全職員に情報共有を図りました。

財政課　目標

【概要】

財政課は、財政係・経営改革推進係の２係８名で構成し、予算編成、地方交付税、市債、経営改革などに関する業務に取り組んでいます。

財政課の目標（令和６年度）	財政課長
【基本方向】 将来にわたり持続可能な行財政経営の実現に向け、経営改革を着実に推進し、健全な財政運営を堅持します。	
【達成すべき目標】 **1　中期収支見込みの見直し** 中期財政計画【経営改革５か年計画】に示した中期収支見込みについて、前年度の決算状況や社会情勢の変化など、将来の財政運営に影響を与える要素を勘案したうえで見直しを行うとともに、財政規律指標の維持・向上を図ります。	**【目標の達成度】** **1　中期収支見込みの見直し** 令和６年９月に中期財政計画【経営改革５か年計画】に示した中期収支見込みの見直しを行い、今後５年間の収支均衡と財政規律指標の維持・向上を図りました。 ・財政調整基金残高（令和７年度末） 目標額:22 億円以上　見込額:26.0 億円 ・地方債残高（令和７年度末） 目標額:180 億円以下　見込額:172.3 億円
2　特定施設の整備に係る基金設置に向けた調整 本市の将来にとって重要な大規模普通建設事業の着実な実施に向けた財源を確保するための手段として、特定目的基金の設置に向け、中期収支見込みにおける基金積立金の計上、また、基金設置条例の提案や補正予算計上など、施設整備担当課と連携を図ります。	**2　特定施設の整備に係る基金設置に向けた調整** 決算額を基準とした標準的な財政運営を作成し、財政調整基金残高の目標水準を確認したうえで、特定施設の整備に係る基金積立の方向性を決定しました。 この決定を基に、中期収支見込みに基金積立金を計上し、９月に市議会に対し説明をするとともに、12月議会で基金設置条例の提案及び積立金の補正予算計上を行いました。
3　経営改革の推進 限られた経営資源を、より一層効率的・効果的に活用するため、中期財政計画【経営改革５か年計画】実行計画の各実施項目について取組を引き続き推進します。	**3　経営改革の推進** 旧学校施設の民間事業者への貸付などによる未利用市有地等の有効活用、使用料・手数料の金額や減免要件の適正な水準に係る算定方針見直し案の作成、市立保育所における保育ICTシステムの導入による市民サービスの向上等に取り組みました。

管財契約検査課　目標

【概要】

管財契約検査課は、管財契約検査係の１係７名で構成し、市役所本庁舎の適正な維持管理、契約、検査事務などに関する業務に取り組んでいます。

管財契約検査課の目標（令和６年度）	管財契約検査課長
【基本方向】 脱炭素化の取組みを推進させながら、公用車の導入や市役所本庁舎の適切な維持管理を行います。工事や物品調達等に係る入札、契約事務の執行、また工事検査を実施します。	
【達成すべき目標】	**【目標の達成度】**
１　脱炭素化の取組み 富津市脱炭素化の取組みとして本庁舎照明のＬＥＤ化を実施します。	１　脱炭素化の取組み 令和６年６月に本契約、９月から交換作業開始、12月から賃貸借を開始しました。
２　庁舎管理業務 市役所本庁舎について、職員による目視点検を行うなど、機能を損なうことなく、通常業務が適切に行えるよう適正に管理します。また、災害時でも防災機能を損なうことがないよう、必要最小限な改修を計画的に行い、緊急的・突発的な修繕が必要な場合や、庁舎管理上の問題が生じた場合は速やかに対応します。	２　庁舎管理業務 目視点検を毎月のほか、台風など荒天後に実施しました。また、緊急的・突発的な修繕についても、適切に対応しました。 庁舎の改修では、保全計画を見直し、中期収支見込へ計上を行いました。
３　入札・契約事務の執行 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律及び同法施行令に係る富津市入札・契約事務運用マニュアルに基づき適切に実施します。	３　入札・契約事務の執行 建設工事等指名業者選定委員会を21回、資格審査基準設定審査会を4回開催し、入札133件、指名停止4件、計137件を執行しました。
４　厳格な工事検査の実施 富津市建設工事適正化指導要綱に基づき工事検査を複数の職員で行い、工事内容を精査することにより、建設工事の適正な施工を確保し、建設業の健全な発達を図ります。	４　厳格な工事検査の実施 出来高検査１件、完成検査50件、合計51件を実施しました。また、建設工事の適正な施工の確保のため国及び県などからの通知等を関係者へ通知しました。